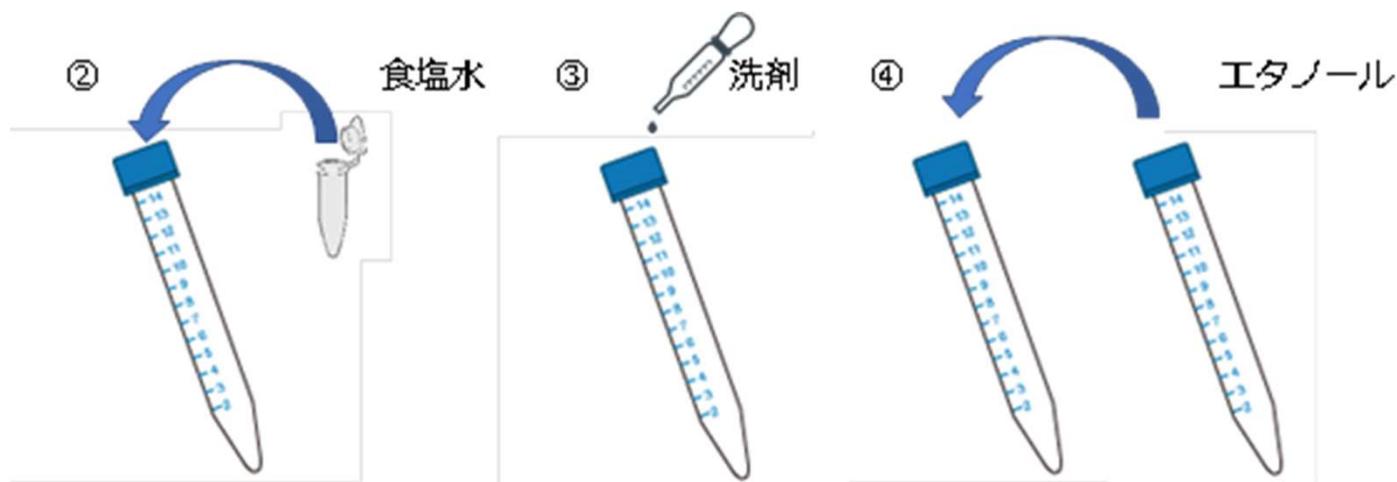


実験：自分のDNAを取ってみよう！

- ①頬っぺたの内側を少しカミカミしてから、唾液を2 mLチューブに入れる。
- ②10%食塩水1mLを、唾液の入っているチューブに入れ、泡立たないように混ぜる。
- ③洗剤を2滴くらい入れ、そっと混ぜる。
- ④エタノール8 mLをそっと入れる。



<解説>

- 細胞を壊し、DNAを取り出す。
細胞膜や核膜を壊す→物理的に壊す、洗剤＝界面活性剤を使う
- DNAは細胞の核の中にあり、タンパク質に巻き付いて存在している。
タンパク質とDNAを分離する→食塩を使う
- DNAはアルコールに溶けにくいことを利用
DNAはエタノール溶液中(60-70%くらい)で安定して保存できる。
浮いてきた繊維状のDNAを竹串などで回収し、エタノール溶液中に懸濁すると、きれいなDNAがとれる。